

1. コミュニティ単位の形成

a. サウスランズ



サウスランズのCHW研修。初めての研修で、興味深く熱心に聞き入るCHW



研修の一つのカリキュラムとして、既に設立されて活動が行われている他のコミュニティ単位へのサイト訪問を行う。サウスランズCHC、CHWは3年前に設立されたキベラスラムのライニサバCUを訪問し、CHW、CHCより、活動に関して説明を受けた。写真は、ライニサバCUで使われている情報ツールの一つである黒板の利用について学んでいる風景。



研修の一環である世帯調査の実施後、自分たちのコミュニティの保健状況を示すデータのフィードバックを受け、これに基づいて、コミュニティの問題を特定し、それを改善するための行動計画を策定する。



サウスランズ世帯調査データに関するワークショップ

b. マニャッタ・マトペニ



マトペニ・マニャッタのCHW研修。CHWおよび講師であるCHEWの記念撮影。

2. コミュニティ単位における活動

a. コミュニティダイアログ



マトペニスラムのダイアログデイにおいて、地域のチーフが当コミュニティの問題に関して、コミュニティ住民・CHW・CHCに対して説明する。



地方行政の担当官であるチーフが出席して、コミュニティ集会を実施。

b. アクションデイ



CC/UPのアクションデイにおいて、清掃作業を終えたコミュニティ住民とチャイルドドクタースタッフ



マトペニのアクションデイの清掃作業において、ゴミの処理を行う



マニャッタのアクションデイにおいて、CHEWがコミュニティ住民、CHC、CHWに対して、水衛生の教育を行う



サウスランズのアクションデイにおいて、コミュニティの女性たちが清掃活動を行う。

c. アウトリーチ活動



マニャッタのアウトリーチ活動に押し寄せる人々に対して、登録を行う。



マニャッタのアウトリーチ活動全景。それぞれの部署において、予防接種や診察などが行われている。



マニャッタのアウトリーチ活動において予防接種を受ける子供。マニャッタにおいては、マサイ族の文化の中で、予防接種率が低く、予防接種の必要性に関する教育および、予防接種の実施が早急に必要である。



人口の多いサウスランズにおけるアウトリーチ活動。一日実施しても、クリニックに集まってきた住民全てに対して、医療サービスを提供することができなかった。



マトペニのアウトリーチ活動において、薬を提供する

d. 種々研修



ダイアログ研修。3つの違ったコミュニティからCHW、CHCのメンバーが参加し、コミュニティに効果的にメッセージを伝え、コミュニケーションを促進するための研修を実施した。



CHEW初期研修。ランガタ県内スラムで働く公衆衛生省スタッフが、コミュニティを支援するCHEWになるための研修を実施した。



対象コミュニティ内のリーダーおよび、コミュニティを支援する外部のリーダー（宗教的リーダー、チーフなど）を対象に、CHSに関する一日研修を実施



サイト訪問研修 1

ニエリCUのCHWが、本事業対象CUのCHW、CHCメンバーに収入向上活動の経験を話す。



サイト訪問研修 2

ニエリCUと、本事業対象3CUのメンバーの集合写真

e. その他イベント



世界エイズデー

サウスランズにおいて、保健省保健施設および当団体クリニックにより、HIVテストなどを中心としたアウトリーチ活動を実施。

また、HIV患者の自宅でのケアなどの講習会を実施。



3. 資機材供与



対象3箇所のCUに、清掃道具などの機材を供与。写真は、ランガタ県公衆衛生局メンバー、CC/UPコミュニティ代表者、CC/UP担当保健施設であるナイロビウエスト刑務所保健センターのスタッフなど。



CC/UPにごみ収集用容器を供与。これを、ごみ収集場所に設置し、市営ゴミ収集車と契約し、ゴミの散乱を防ぐ。



事業変更で供与したサウスランズの水タンク。市営の水道管は走行しているものの、週に数日しか水が流れていないため、水がある時にタンクに貯蓄し、毎日利用できるようにした。